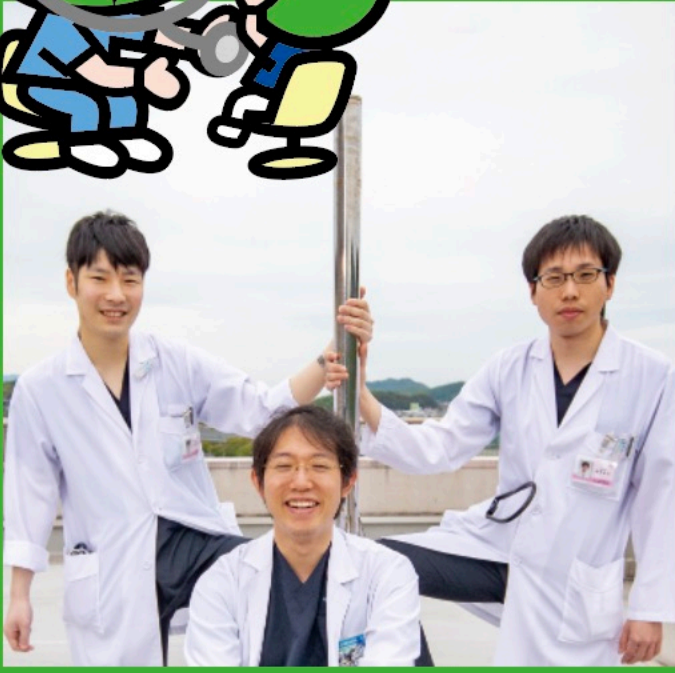


2019

徳島県臨床研修病院ガイド

TRAINING HOSPITAL GUIDE TOKUSHIMA



プログラムの特色

必修科目は、内科24週以上(総合診療科含)、救急科12週以上、外科、産婦人科、小児科、精神科各4週以上、地域医療8週以上の研修を行う。選択科目は、徳島県立三好病院(13科目)、徳島県立中央病院(19科目)、徳島大学病院(22科目)、諏訪中央病院(総合診療科)での、フレキシブルな研修が可能です。研修を通して、地域住民の「病」を通して「生(活)」を診られること、「地域医療マインド」の涵養を目的としています。

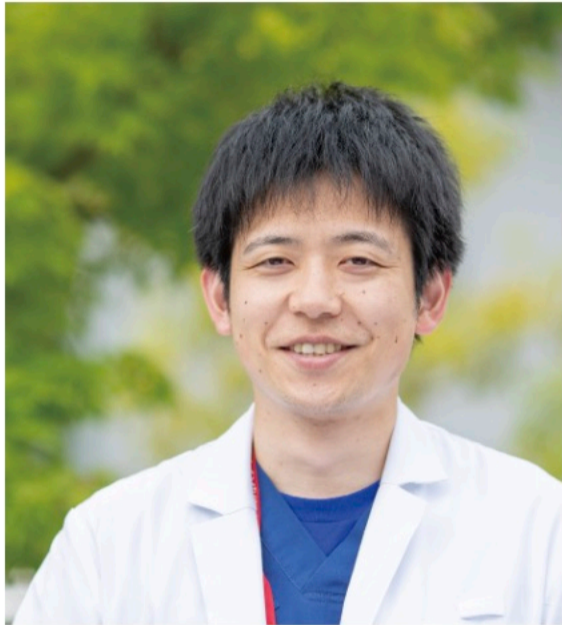


あわいけだ

「徳島池田から始める地域医療」

研修医1年目
阿部 司

私が三好病院を選んだ1番の理由は、1次救急から3次救急まで受け付けており、その3つのバランスが自分のイメージに合っていたところです。研修医には、重症度を判断する訓練が必要になると思います。三好病院には、年間6000人～7000人の救急患者さんが来られ、救急車は約2000台来ます。1次が1番多く、2次、3次の患者さんが時々来られます。この症例数は研修医の人数1人あたりで考えると、十分な症例数だと思います。また、三好病院を見学した時には、医師の少ない中で責任を持って医療に取り組む先生達の姿に憧れました。現在、そうした環境で充実した研修生活を送っています。ぜひ1度三好病院に来てみてください。



徳島県立三好病院
Tokushima Prefectural Miyoshi Hospital

〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2 TEL 0883-72-1131(代) FAX 0883-72-6910
E-mail miyoshibyouin@pref.tokushima.jp URL www.miyoshi-hosp.jp



最高!!

研修医2年目 増田 太利志

自分が徳島県鳴門病院を志望した理由は、6年次に部活動の先輩に誘われて病院見学させていただいた際、職場の雰囲気がよく、質問しやすい環境であったことがあげられます。また、徳島県鳴門病院の研修プログラムは自由度が高く幅広く研修できるということ、救急車の受け入れが多く十分に救急医療の研修ができるということもあげられます。気付けば研修を始めて1年が過ぎていました。日々を過ごす中でうまくいかないこと、反省すべき点は未だにありますが、指導医の先生方、研修医の仲間達のおかげで成長できていると実感しています。将来お世話になった方々に恩返しができるよう、また、得たものを次の代につないでいけるよう精一杯努力していこうと思います。



プログラムの特色

地域中核病院および救急指定病院として、日常診療において遭遇する頻度の高い疾患についてのプライマリーケアが経験できます。必修分野は、内科24週、救急12週、外科・小児科・産婦人科・精神科および地域医療それぞれ4週の研修を行います。選択科は48週とし、将来の進路に応じて研修医の希望に沿った研修が行えるプログラムとなっています。

地方独立行政法人
徳島県鳴門病院

〒772-8503 徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷32番 TEL 088-683-0011(代) FAX 088-683-1860
E-mail syomu@naruto-hsp.jp URL www.naruto-hsp.jp



「日々、成長を実感」 研修医1年目 山崎 めぐみ

研修が始まって1ヵ月経ち、ようやく仕事にも慣れてきました。この病院での研修の特徴は、何といても当直業務で数多くの救急症例を診られるところです。当直ではまずひとりで初期対応を行い、自分でアセスメントしてから上級医に十分なフィードバックしてもらうことで、医師として一人前に診療できる力が育ちます。上級医やコメディカルの方々は皆親切で優しく、いい意味での垣根の低さがあり質問がともしやすい環境です。熱心で十二分な指導をしてくださるため、自分の至らない点を日々見つけることができその度に成長を実感できます。病院全体の取り組みとして、インシデントに対する再発防止に日々取り組んでいることが印象的でした。問題点はその都度解決していき、皆が安心して仕事に取り組める環境が整備されています。その他、福利厚生も充実しており、ストレスの溜まらない研修生活が送れていると感じています。

プログラムの特色

当院の診療科は、総合診療、循環器、消化器、脳・神経、代謝・内分泌など、内科・外科一体となった機能的な研修体制をとっています。救命救急センターは軽症から最重症まですべての患者さんを受け入れる北米型のシステムで救急搬送は年間約5000件です。当院の特徴は、診療科の垣根が低く各専門科へのコンサルテーションが容易で、他職種のモチベーションも高く非常に仕事がやりやすいことです。救急研修では、このような専門家集団に守られながら、数多くの症例を経験できます。必須科目に加えて、IVRや心エコー、内視鏡などの手技に特化した選択科目や、病理、災害医療救護などユニークな研修を自由に選択することができます。



日本赤十字社 徳島赤十字病院

〒773-8502 徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103番 URL www.tokushima-med.jrc.or.jp
TEL 0885-32-2555(代) FAX 0885-32-3800 E-mail kensyui3@tokushima-med.jrc.or.jp



医者になった充実感



研修医1年目 村上 尚哉

徳島市民病院で研修を始めて約2ヵ月が経ちました。初めは、自分が医者として仕事ができるのか不安でしたが、指導医の先生をはじめとする病院のスタッフの方々の指導により、今は自信をもって仕事をすることができています。うまくいかなかったこともいくつか経験しましたが、自分自身が成長するための貴重な機会とポジティブに捉えることができるような環境が当院にはあります。それは、病院全体で研修医を育てようという意識があり、研修医に対して寛大であるからだと思います。また、当院の研修では、自分自身の考えが求められる場面も多くあります。自分の考えで行った医療行為が、患者さんにとって良い結果をもたらした場合は、医者冥利に尽きると感じました。このように自分自身が医者になったのだと充実感を感じる2ヵ月間でした。

プログラムの特色

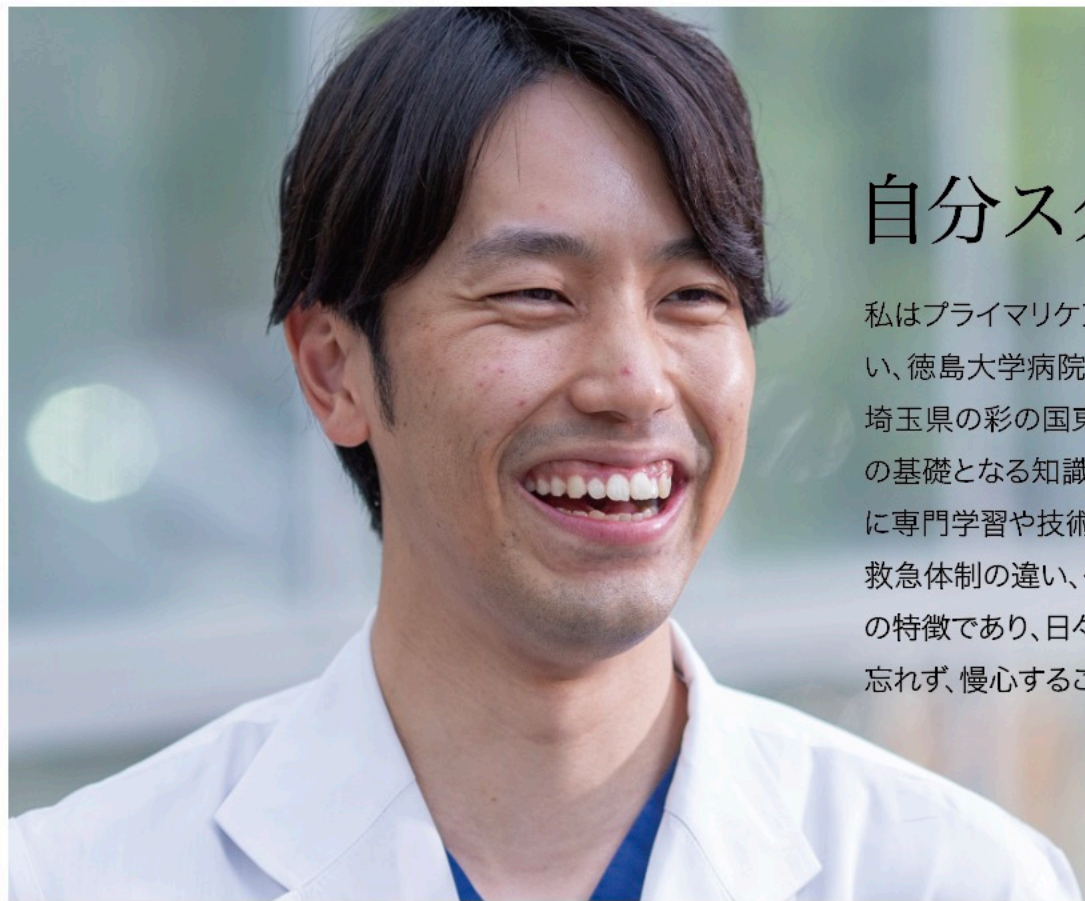
医師としての人格の涵養を図るとともに、日常診療で頻りに遭遇する病気や事態に適切に対応できる基本的診療能力(態度、技能、知識)の修得を目指します。研修は、内科24週、救急12週(うち8週は麻酔科4週、2年目の救急当直を4週に換算したものとして取り扱います。)、外科8週、小児科8週、産婦人科8週、精神科4週、一般外来4週及び地域医療4週を必修とします。残りは選択科の研修を計36週行います。指導体制は、指導医とのマン・ツー・マン方式を基本とします。救急患者への対応は副当直として従事し、基本的知識、緊急の手技、検査などを習得します。



徳島市民病院

〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34番地 TEL 088-622-5121(代) FAX 088-622-5313
E-mail kanri@hosp.tokushima.tokushima.jp URL www.city.tokushima.tokushima.jp/siminbyoin





自分スタイルの研修を 研修医2年目 堀 祥昌

私はプライマリケアのできる外科医を目指し、そして、広い視野を持った医師になりたいと思い、徳島大学病院での研修を選びました。大学病院には全国に多数の協力病院があり、私は埼玉県の彩の国東大宮メディカルセンターと徳島赤十字病院で、救急や外科、そして、診療の基礎となる知識、技術、意識を学びました。現在は、大学病院で3年目以降につながるよう専門学習や技術の向上に努めています。初期研修のうちに、大学病院と市中病院の疾患や救急体制の違い、そして、地域ごとに抱える医療問題の違いを経験できるのはこのプログラムの特徴であり、日々刺激を受けながら研修しています。今後はお世話になった方々への感謝を忘れず、慢心することなく、広い視野を持ち柔軟性のある医師になれるよう精進していきます。



大学病院ならではの3年目以降の専門医研修につながる研修プログラムを用意しています。協力病院も徳島県だけでなく、日本全国に存在し、各研修医が充実した研修を行えるよう、数多くの選択肢があります。また、2年間の臨床研修では、プライマリケアを中心とした基本的な診療能力を習得できるように計画しています。

Tokushima University Hospital
徳島大学病院



〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1
TEL 088-631-1111[案内] FAX 088-633-7009
E-mail bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp
URL www.tokushima-hosp.jp

たくましくあれ



私が徳島県立中央病院で初期臨床研修をしたいと思った理由は、全ての診療科が揃っており、幅広い領域の症例を数多く経験できると考えたからです。徳島県立中央病院には、熱心に指導して下さる先生がたくさんいらっしゃるの毎日々様々な学びや気づきが多くあり、非常に充実した研修生活を送ることができています。また、研修医の同期の人数が13人と多く、一緒に学ぶ仲間が多いのも心強いです。私自身は、まだ出来ないことや知らないことが多く、現場で役に立つことができた実感することはあまりないのですが、素晴らしい環境で研修させて頂いているので、日々努力して少しずつ出来ることを増やし、早く患者さんの役に立てるようになりたいと思っています。

プログラムの特色

プライマリケアの基本的な診療能力(知識・態度・技能)を身につけ、幅広い疾患に対応できる能力を養う為に、1年次から2年次にかけて救急科3ヶ月、総合診療科1ヶ月、内科8ヶ月、外科2ヶ月を研修します。2年次では県立三好病院、県立海部病院で徳島県の地域医療を学び、一方で希望者は病院屋上に常駐しているドクターヘリに搭乗することができ、救急医療の最前線も経験できます。これらの研修を通して患者への慈愛の心を培い、信頼される医師として、チーム医療を実践し、社会に貢献できる医師の育成を目指しています。



研修医1年目
大塚 友里子

 **徳島県立中央病院**
TOKUSHIMA PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

〒770-8539 徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3
TEL 088-631-7151(代) FAX 088-631-8354
E-mail kenshu@tph.gr.jp URL www.tph.gr.jp



入院から在宅まで、 つながりのある研修

徳島健生病院では、病院全体で研修医を育てようという雰囲気があり、上級医やコメディカルの方たちに日々支えられながら研修に取り組んでいます。自分の研修がどの程度かフィードバックしてもらえる機会も多く、研修医の意見をプログラムに反映するといった「自分だけの研修プログラム」を作ることができます。分からないことをすぐに聞くことのできる雰囲気、手技の多さ、研修医の意見を尊重してくれるスタッフの方々、基幹型病院の中では小規模ではありますが、研修医として働く環境としては最適な場所であると思います。

プログラムの特色

専門とする分野に関わらず、入院、外来、救急、在宅医療といった様々なフィールドの中で、幅広い問題解決能力を持ち、人間性にあふれ、患者のかかえた問題を身体的・心理的、生活や社会背景も含めてまるごと受け止められる医師を目指します。



研修医2年目
西園 友貴



徳島健康生活協同組合
徳島健生病院

医療福祉生協連

〒770-8547 徳島県徳島市下助任町4丁目9
TEL 088-622-7771 FAX 088-653-8480
E-mail ikyoku@kenkou-seikyou.com
URL kenkou-seikyou.com



プログラムの特色

この研修プログラムでは、阿南医療センターを基幹型研修病院とし、協力型研修病院(徳島大学病院)とで臨床研修群を構成し、研修医の受け入れを行う。本院研修プログラムの特徴は、内科研修における各診療科単位の縦わりではなく、24週、すべての内科小診療科を同時平行で行う全人的研修である。

阿南医療センター
田山 貴広

心身共に幸せになれる研修

当院は2019年5月に阿南共栄病院、阿南中央病院が統合され新病院となり、新棟、電子カルテシステムの統一や屋上ヘリポートなど設備、診療体制が充実しました。県南の中核病院、二次救急病院としてcommon diseaseを多く扱っております。私は小児科医として研修中ですが、主に小児一般医療、新生児医療、乳児健診、予防接種を行っており、日々臨床スキルアップを目指しております。当院では上級医が教育熱心で、看護師、スタッフも非常に協力的です。職員一同より良い医療を提供したいという良い雰囲気もあります。まだまだ知識、技術面で未熟ですが、一つ一つの症例を大事にし、努力し成長していきたいと思っております。

JA徳島厚生連
阿南医療センター

〒774-0045 徳島県阿南市宝田町川原6番地1
TEL 0884-28-7777(代) FAX 0884-28-6050

E-mail kanrikatyou@anan-medc.jp URL www.anan-medc.jp/tal.jp



プログラムの特色

従来からローテーション研修に取り組み、看護師やコメディカル部門と協力し「チーム医療」「患者の立場に立つ医療」を実践してきました。また、患者会や地域住民への医療学習会を開催し、地域とともに医師養成を行っています。



勇往邁進

～恐れることなく自分の目的・目標に向かってひたすら前進～

こんにちは。

吉野川医療センターには「病院全体で研修医を育てる」という雰囲気を強く感じます。病院の規模が大きすぎないため、自分がローテーションしている診療科の先生に限らず多くの先生方が研修医のことを気にかけてくれます。コメディカルスタッフもみなさん熱心に指導して下さり、アットホームな雰囲気の中で研修をさせてもらっています。徳島県の中部には当院以外の基幹病院が少ないため、その地域の症例が幅広く集まります。研修医が経験すべきcommon diseaseから非常にまれな症例まで本当に様々です。そして症例に当たった際、手技に関しても惜しみなく経験させて下さり、少しずつ医師としてのやりがいや成長を実感しています。当院は徳島市内から離れた所にあるので、なじみのない方も多いかもしれませんが是非一度足を運んでみてください。当院の持ち味をぜひ感じてほしいです。お待ちしております。



Yoshinogawa Medical Center
吉野川医療センター

〒776-8511 徳島県吉野川市鴨島町知恵島字西知恵島120 TEL 0883-26-2222 FAX 0883-26-2300
E-mail kanrika4@ja-ymc.jp URL www.ja-ymc.jp

